

## 千葉市ゆかりの画家 田岡春径による大壁画「妙見尊出現の図」の修復を行います ～千葉開府900年に向けて修復作業がスタート！修復作業の様子を公開します～

千葉市では、千葉開府900年記念事業の一環として、千葉市立郷土博物館が所蔵する田岡春径しゅんけいによる大壁画「妙見尊出現の図」みょうけんそんを修復することとなりましたので、お知らせします。

また、2月7日（金）11：00から報道機関向けに修復の様子を特別公開しますので、併せてお知らせします。

### 1 趣旨

本市では、令和8年に千葉のまちができて900年の節目となる「千葉開府900年」を迎えます。

本作品はその大きさと保存状態から現在非公開となっていますが、今回千葉開府900年記念事業の一環として修復を実施し、千葉市美術館にてその作業の様子を公開します。修復過程は写真、映像等で記録し、後日公開予定です。

また、修復後の作品については、令和8年度に千葉市美術館等で予定している千葉開府900年記念事業にて披露する予定です。

### 2 妙見尊出現の図について

「妙見尊出現の図」は、昭和42（1967）年の千葉市立郷土博物館の開館にあわせ、市の依頼で制作された壁画です。縦3m60cm、横8m23cmという大画面に、「千葉妙見大縁起絵巻」（千葉県指定有形文化財、千葉市・栄福寺蔵）中の結城野ゆうきのの合戦の場面の図柄を参照し、千葉氏に関わる伝説をダイナミックに描いた迫力ある墨彩画作品です。



妙見尊出現の図

### 3 田岡春径とは

田岡春径（1887－1969）は、徳島県生まれで千葉市ゆかりの南画家。昭和4（1929）年、帝展に初入選し、日展や日本南画院展で活躍しました。昭和の初めに日本画家の石井林響りんきょうを慕って大網町宮谷（現大網白里市大網）に移住し、房総の自然を鮮やかに描き、昭和28（1953）年頃からは千葉市稲毛町（現稲毛区）の松林に居を構え、千葉県内の芸術文化振興に尽くしました。地元の名士・文人として慕われ、主宰した「春葉会」には、奈良屋百貨店の杉本郁太郎や千葉市長の宮内三朗、国松画廊の国松伽耶かやなど、各界のそうそうたるメンバーが名を連ねていました。

このたび修復する「妙見尊出現の図」は、春径81歳の最晩年、主だった弟子たちと共に、稲毛浅間神社の社務所で3カ月の期間をかけて制作されたものです。

#### 4 報道機関向け修復作業公開日

(1) 日時

令和7年2月7日(金) 11:00から

(2) 場所

千葉市美術館5階 ワークショップルーム(中央区中央3-10-8)

(3) 取材申し込み

修復作業の取材を希望される方は、2月6日(木) 18:00までに千葉市美術館広報担当 磯野宛て電話(221-2311)または電子メール(isono@ccma-net.jp)でご連絡ください。

#### 問い合わせ先

【大壁画「妙見尊出現の図」および修復作業に関すること】

市民局生活文化スポーツ部文化振興課 電話245-5261

千葉市美術館 電話221-2311

教育委員会事務局生涯学習部文化財課郷土博物館 電話222-8231

【千葉開府900年記念事業に関すること】

総合政策局総合政策部都市アイデンティティ推進課 電話245-5052